

## ヨーロッパ思想研究

2単位 (選択) 2年 (後期)

吉田 昌市・教授/人間文化学科, 山口 裕之・准教授/人間文化学科, 石田 三千雄・教授/人間文化学科

**【授業目的】** 西洋の哲学・宗教思想について、テーマ、時代、人などの視点で問題を切り取って講義を行う。またそれを通して、現代社会の諸問題をその背景から思想的に理解する力を養うことを目指す。

**【授業概要】** まずヨーロッパ思想のバックボーンをなす古代ギリシアやヘブライの思想の基礎を学び、続いて近代哲学の基礎を築いたデカルトからヘーゲル・ドイツ観念論に至る近代哲学の基礎を学び、フランス・ドイツを中心とした現代哲学(科学認識論と現象学)の基礎を学ぶ。

**【キーワード】** 倫理学, 科学と哲学, 哲学

**【到達目標】**

1. 人文科学(西洋思想)に関わる幅広い知識の理解を目標とする。
2. 日本語で論理的文章を書くことができる能力の養成を目標とする。
3. 高い倫理観の涵養を目標とする。

**【授業計画】**

1. 古代ギリシアの哲学 1: エレア学派の論理(吉田)
2. 古代ギリシアの哲学 2: ソクラテスの対話(吉田)
3. 古代ギリシアの哲学 3: プラトンの学問論(吉田)
4. 古代イスラエルの宗教思想 1: 「創世記」(吉田)
5. 古代イスラエルの宗教思想 2: 「創世記(続)」(吉田)
6. ドイツの思想 1: カントの理論哲学(石田)
7. ドイツの思想 2: カントの社会哲学(石田)
8. ドイツの思想 3: フッサール現象学の基礎(石田)
9. ドイツの思想 4: フッサールの生活世界論(石田)
10. ドイツの思想 5: ハイデッガーの思想(石田)
11. フランスの思想 1: フランス近代の重要性(山口)
12. フランスの思想 2: デカルトの仕事(山口)
13. フランスの思想 3: デカルトと経験論哲学(山口)
14. フランスの思想 4: 経験論哲学の認識理論(山口)
15. フランスの思想 5: まとめ(山口)

**【成績評価】** 毎回の授業終了時に書く「一言カード」、3回のレポートにより評価する。レポートの課題や評価基準などについては授業中に示す。

**【再試験】** 無

**【教科書】** 授業の時に資料を配付する

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219022>

**【連絡先】**

- ⇒ 吉田 (総合科学部 1号館 1N11 室(北棟 1階), 088-656-7150, shoichi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜 12時から 13時)
- ⇒ 山口 (共通教育 4号館 404(11年 3月まで), 088-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜 10:30~ 11:30)
- ⇒ 石田 (2328, 088-656-7147, mishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 水曜日 14時~ 15時)